

地域包括支援センターだより



登米市津山・豊里地域包括支援センター

悪質商法・詐欺が高齢者をねらっています

高齢者の悪質商法・詐欺被害が後を絶ちません。「私は大丈夫」と思っている、相手は「だましのプロ」話術にたけ、ねらった人の心理や環境につけこみ、ときには集団によるチームプレーで隙をうかがってきます。被害を防ぐには、普段から心の準備が大切です。被害者の多くは、誰にも相談せず、一人で判断してしまっています。「相談するのが恥ずかしい」などと思わずに相談しましょう！

登米市内で、こんな詐欺事件がありました！

・老人ホーム当選詐欺

「新しい有料老人ホームができて、入所の権利があなたに当たりました。その権利を売ってほしい。支払いには、通帳に100万円入金して準備する必要がある」と高齢者宅に電話があり、それを信じた高齢者は知人に100万円貸して欲しいと相談した。その話しはおかしいと感じた知人が市役所へ相談したことで被害を未然に防ぐことができた。

だまされやすさ心理チェック

※あてはまる項目に○をつけてください

1. 自分のまわりにあまり悪い人はいないと思う・・・・・・・・・・・・・・・・（ ）
2. 相手に悪いので人の話を一生懸命聞くタイプだ・・・・・・・・・・・・・・・・（ ）
3. たまたま運の悪い人がトラブルにあうのだと思う・・・・・・・・・・・・・・・・（ ）
4. 知人から「効いた」「良かった」と聞くと、やってみようと思う・・・・・・・・（ ）
5. 有名人や肩書きのある人の言うことはつい信用してしまう・・・・・・・・（ ）
6. 人からすすめられると断れないタイプだ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・（ ）
7. 迷惑をかけたくないので家族にも黙っていることがある・・・・・・・・・・・・（ ）
8. 実際、身近に相談できる人があまりいない・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・（ ）
9. しっかり者だと思われたい・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・（ ）

※○の数が多いほど消費者トラブルにあう危険性が高くなります
1～3に○をつけた人は、トラブルに応じて危機意識が薄い傾向
4～6に○をつけた人は、だまされているのに気がつかない傾向
7～9に○をつけた人は、だまされたとき一人で抱え込んでしまう傾向がありますので注意しましょう！

認知症サポーターキャラバンのご紹介

地域包括支援センターでは、地域の集会・学校・職場等に訪問してサポーター養成講座を開催しています。認知症になっても、住み慣れた家・地域で暮らしていけるよう、地域の方に認知症に対する正しい知識と具体的な対応方法等をキャラバンメイト(講師役)がお伝えしています。

講座開催のご相談は地域包括支援センターまでご連絡ください！

- ※講座費用はかかりません。
- ※受講された方には認知症サポーターの証としてオレンジリングを配布しております。



地域包括支援センター相談窓口

- ☆津山老人福祉センター内
0225-68-3780
- ☆豊里総合支所内
0225-76-4811



地域包括支援センターは介護・福祉・保健・医療の総合相談窓口です。高齢者の方が抱える生活全般の悩み・相談に対して専門職が解決のための支援をします。